1G 現場で課題と感じていること

（恵和 戸村氏 ・夢21 山口氏 ・エターナル上星川 矢尾氏
・NPOふれんど45 豊田氏、佐藤氏、・リビットはうす横浜 雨宮氏、高橋）

●スタッフ間でサービスの提供、支援方法、記録方法を統一したい
→日誌に入居者との会話を記録する
→フォーマット作成したが、定型文のようになってしまっている
→手書きから、エクセルへ移行した。文章の編集しやすくなった。
・共有したい文章を、赤字で表記。
・課題となる文章は、青で表記
→入居者、家族が見る可能性もあるため、文章に気を付けている。
→AI導入している。（議事録など。）他にもあれば知りたい。

●クレカ（法人）について
→現金払いが難しくなってきている。（ネットスーパーなど）
→生協（個人口座引落し）入居者…おかし、飲み物購入している
→試験的に導入してみたい。
→課金タイプのクレカ利用している。（限度額決まっている）
レシート写真を本部へ送付

●生保の入居者、物価高とうで節約厳しい。生保、年金者どうしてる？
→重度障害者が多いので、出費が少ない
→小遣いを減らしている
→金銭管理している（ヒトごとに現金渡したり、1Wに1回1W分渡すなど）
→旅行やガイドヘルパー代など、削ったりしている

●スマホで手軽に買い物してしまう。
→本人に買うのを止めるというのは、難しい。
→1回1W買ったものを見せてどらい。請求書など提示してどのくらいお金がかかっているか、知ってどらう
→通信販売にTELして注文してしまう。物欲強く、大きな買い物（ハガキなど）してしまう。
→お金管理できない人は、全員後見人つけている

●防災について 備蓄どうしてる？
→4日分備蓄してる
→トイレが1番大事。飲食物は、3日分。トイレだけは大事、多めに！
→精神薬が不足したら困る。
→提携薬局にストック多めにお願いしている。
→BCP作成しているが、いざとなって役立つか不明
→避難所に行っても、生活が難しい。（環境の変化など適応できない…など）

2G. 現場の課題＜児童・教育＞

やめのね：3才ー12才育て支援／相談／地域交流．
在宅支援→子ども達の希望も施設 集団へ幸せなんでは…
何ができるか． ADLの理解． そうは．いかない！

療育センター（SW）：0才ー小6まで 相談は減らない．乳幼児 育てづらい／重心
発達か養育なのか．見立て支援がムズカシイ．
○子育ての環境が変わってきている→共働き．保育園利用
親子で通うのがムズカシイ．巡回相談＝人材育成／計画相談へのつなげ方
小学生への支援 課題
（学校支援）

基幹． 小学校低学年．Pの相談を受ける＜保育 教育 行政

区CW 保幼→小学校 適応できないケース 集団ムズカシイ
2人ぐらいでしか過ごせない．→フリースクール
学校ー個別最適化． オンライン

二つ橋 知的軽度 就労目標 登校↑ 増えてきている．若い方は
高等特支 家庭環境がたいへんなケースが… ヤングケアラー． まだ少なかった．
進路は広がってきているが… 将来 働くことについて…
マッチングがムズカシイ．

3グループ　　区、役元さん、　ウラ、小澤さん、　中部就労　澤田さん、
SSJ　三上、

課題と感じていること

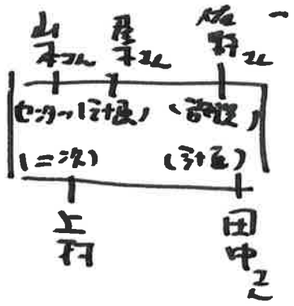
- 地域との関わりが少ない → 部会などに参加し名前だけは出ている
  区民まつり（春くらいに募集）
  平井祭りは6月まで
  次年度は自立協で参加できたら…
- 就労支援センター …… 企業に出向くことが多いので
  地域にねざしてが現状難しい
- ウィズさん
  ケアプラの祭り、防災訓練に参加
- ケアプラとつながる（スロ）
  ケアプラとのつながり
  ・認知症カフェのバンダナ刺しゅう
- 防災美術

- AI　働き方が変わってくる　その時　障害のある方がどうなってくるのか…
  ↳ 物流もAI化
  しおやま　ミュレーター → 最もなくなってくる
  AIで仕事とうばわれ、戻ってきた人も
  （データ入力）

障害者雇用の背景

- 一つの事業所だけでは支援が難しいケース　　支援体制
  どこまで
- 利用者の高齢化　何が最低限の他のサービスにつながっていたら
  ↓　てつがう、金銭、役所…
  事前の予防策（ルール）

4グループ



テーマ：現場で課題と感じている事

〔経営の安定化について〕

- 定員減からの収入をどうしようか悩んでいる
- 横浜は八所の数をキープしようとしているので国と逆こうしている
- 人材確保について外国人材をR10年を目標に伸ばしていきたいと考えている
- 2040年には18%人材が不足する見通し

〔計画相談の経営が難しい〕

- モニタリングの期間は変更したい
- 体制加算等で黒字化できる

  1人80ケースをもてば

  協働が担当制の体制をつくらないと
  並にスキルしないとずっと赤字

〔既存の相談支援が機能していない〕

- 基本相談が計画相談に割れてしまう
- 件数を多くもてない
- 電話が終わない
- 計画相談単体の事業所だと負担が大きい

→ 直接支援との役割分担ができると良い

↳ できる事を教えて欲しい
正しく計画相談を理解して欲しい

→ 横浜は相談が多すぎて誰に何を頼むべきか？

〔経験年数が少ない職員が窓口になるので人材育成やアセスメントが難しい〕

- 発信できない職員が抱えこんでしまう
- インテーク後のふりわけに難しさがある

→ 全員で把握していく為のアイデアが必要？
2week1回ケースの箱と担当について検討等

→ バーニアスケールをかけていく

〔計画相談は個人商店化しやすい〕

- 離職につながってしまう

5年

交通費　：行動を拡げる

つながる所　　ちょっとしたアドバイスを受けてくれる

相談できるところ

活動できる場所

家族の支え で生活している

親の会

活動の継続

歴史ある会　　それぞれの悩み

新しい会

6グループ　現場の課題

(車)　課題
送迎問題
※移動支援カット

カルがもの会　中途障害者の就活のサポート
(脳卒中、事故で脳にダメージ受けた方などご対象)

- 地域にあまり知られていない課題あり
- 生活リハビリ教室

波及効果あり
(市域で)

◎区によってはお風呂がへっているところもある

- SNS等使っての情報提供を積極的におこなっている

ゆめワーク(生活介護)　知的・精神

詳細
- 職員の思いが伝わりきらない(利用者さんに対して)
  (分かってもらえないというモヤモヤがある)
- 職員のやりがい(常勤、非常勤)
- 〃　育成

- 日後をめざしていくなかで本人の可能性をさぐりたい

夢ん(日中7、GH10)　日中と生活の場が互いに支えあっていくのが重要と思っている

- 利用者がへっているのは他事務所と同じ ⇒ (生活介護に魅力を感じられない
  トアtoトアに魅力を感じる施設が多い)
- 収支バランスがわるい
  (職員給料の自然増、人材会社への多い負担大)
  → 日中事務所で強化介護の人をとるようになって、収支改善
  (継続して、収入をふやす取り組み必要)
- 定着困難　職業

米 通所でも人の力をそぎ取る思いはある

なんでも送迎でよいのかどうか？

- 通所のあとの 夕方～夜の時間帯の支援をどうするか？

  ⇓

  支援学校の人たちが土休にのってくれない

  (休日にも利用者にアピールしてほしい)

  一生懸命仕事している姿や、仕事だけでない社会生活も含めて、自立人の強みをアピールしていきたい

- 就労とその人の能力、希望のマッチングでむずかしい

<現場で課題と感じている事>

7グループ

① 利用者同士の人うブル / マイナス発言をして成長を見る利用者への対応。 支援

② 福祉サービスを利用していない利用者(区分なし) <地活>
支援者:将来を見据えたサービス利用をして欲しいが 困り感がない。

③ 日中・相談・両方管理している視点から
日中職員が研修会議に出る事が難しい。つながり作って欲しい 研修

④ 事務量の多さ、人材確保、
- 障害者プラこにもよった 夕方の支援、人材も少ない中でどう対応していけば良いか不安。
  学校・放デイ → 児相以降、日中事業所の営業時間
- 利用者 確保、
  人材確保と人材育成

運営 労働環境

---

① 作業中の会話、配置環境の整備
- コミニケーションこ取って良い人(職員)

② 情報提供を続ける。家族とのコミュニケーション
- 家族同士で情報共有してもらう。

③ 研修や外部会議、
- 1人ならないとサポートしている体制整えて。
- 法人や大きな視点でフォローできると良い。事故のルールが…。

夕方・支援
- 営業時間、6時間を確保できるよう 15:30 → 15:45にした。(ゆめ)
- 以前からあった課題:延長支援としてやっている報酬が低いが、事業所の強みとしてアピールできる。

④ 事務量の多さ
- 記録ソフト ホワイトパス
- マイク(たかム)音声で記録できる。(
- AI ~~議事録~~で議事録 コストも超勤時間と考えれば安い?
-

<G8>

- 「高齢化」「重度化」 → 早い内からつながることで、切れ目のない支援展開できれば
  （高齢領域と障害領域の相互理解や情報交換をもって）
  「現在」だけでなく「将来」まで見すえて　　[役見的支援]
- 「暮らし」方の多様化がしていけたら!! ⇒ 体験・経験の機会／意思決定（選べる）が充実していけたら。
- 高校時点の夫婦世帯：制度の問題、夫婦のあり方も多様に考えられるといいが……
  インフォーマルも含めたチーム支援の中で、終結していけたらいいが難しい。
  「地域連携をすすめていけたらいい」
  → "卒業"でも自主的なでとつながり強化しながら一緒に考えていけたら。
- 普及啓発の難しさ → 壁がなく普及するように"街に住む人"として知ってもらうことが
  地区ごとの差（団体、個人）　望ましいと思う。
- 情報共有を文字化（わかるように）が、個人情報など様々課題、それぞれの取り組みから
  知れた"生"の情報を集められたら。

9グループ　課題だと感じること

・この季節の切り目（春秋）、精神の方の調子が波あり。
　ASDの方も台風発生時。
　GHに入ると通勤する日数が増える。

・高齢期の両親などあとの説明が大変。
　本人も高齢になってきているので、障がいだけ
　でなく、高齢の知識がないと。

・介護になると入りにくくなるGHが多い。
　（身体介護）
　どこまでかかえこんでしまうか…
　事業所を複数もっている法人の悩み。

・意志確認、意志決定、をなんどもする必要。

・65才、介護からしてみれば若手。
　切りかえが難しい。

・就労移行からのといあわせ。⇒企業に就職するために相談できる福祉サービスとつながることを条件とする事があり、といあわせがある。
　制度をしっかり理解されず、後見的にといあわせがくる
　就労は、就職をさせるために相談できる事業所が
　をつけることが必要になってきているから、つなげいで
　きている様子→企業就労の困難を対応する相談できる
　場所も必要になってくるのかもしれない。

・知的3強行。
　互援力　年数と福祉の考え方もちがう
　　とらえ方、差、が極大きい。
　3強行みれないという社員もいる。
　考え方がそもそも、共通理解に困る。
　また、通所がみつからない。
　GHは、あまりみつからず…　単身になることがある。

・計相　兼務の立ち位置、が難し…。
　重度の利用者の予算、人材どうなる？
　3日間の研修のハードルが低い。
　3年どがえてしまう…

人材不足。⇒ミャンマーなど海外国人雇用を考えている。

　利用者さんのあれよう、が事業所にクレームくるのが大変。

　計相：どこまでかりされるか？
　59.9%を改善するために…
　　児童からもっと長いから、空きがない。
　　横計相する精査が必要。
　　本人よりも家族の支援が多いとロス。
　　本人の課題を基準にすると…